

東亜同文書院華語担任教授等は優良な華日辞典の出版されないことを憂いていたが、いよいよ自らの手で之を完成せんことを期し、東亜同文書院華語担任教授、助教授、華人講師全員（時期により不同であったが、大体十一、二名）で之に當ることとし、昭和七年東亜同文書院當局の援助を受けて発足し、資料の蒐集にとりかかった。

実施方針は、東亜同文書院において華語を担当する教授、助教授、講師はすべて、華日辞典編纂に従事すべきことを申合わせた。学校當局よりは、この事業のため特に専属日本人事務員一名を與えられ、研究室の提供を受け、カード、カード整理箱、文具等の消耗品の供給を受けた。

資料は先ず日支両国の華語に関する辞典に材料をとり、更に動・植・鉱物辞典、經濟辞典、百科事典、新聞雜誌、文藝作品、華語教科書等にわたって取材した。

昭和十五・六年頃時局緊張のため一時工作が停頓したこともあるが、十八・九年頃出版に関して種々の意見があらわれ、結局、この種のものには性質上完全を期することは不可能であるから、現有のうちでは最良のものであるとの自信を持てる以上、この辺で一度整理出版すべしとのことに落ちつき、一部のものは整理にかかり、一部のものは更に蒐集をつづけ、昭和二十一年末頃までには全部整理を終る豫定であった。

昭和二十年終戦時において、原稿カードは約十四萬枚であったが、一語でカード数枚にわたるものもあり、また同一語が数枚に亘って重複しているものもあるので、実際の語数は十萬語餘りであろうと推定される。

終戦時、このカードを引渡した時、將來可能な時機が来たらわれわれに完成させてもらいたい旨を接收委員鄭振鐸氏に申出ておいたので、今回日中友好協会を通じて返還を願出たところ、贈與という名目で返還されることになった。

昭和二十九年七月 日

旧東亜同文書院大学学長

愛知大学学長

本間喜一

〔注〕辞典カードの返還が決定的となり、カード到着後、本学における編集・出版に対して学内外への説明の為の参考資料の作成を、本間学長から命ぜられ、鈴木教授が作成したものである。

拝啓 愈々御清適の段よろこび申上げます。

華日辞典編纂の件については、三月末、内山正夫氏が専任者として来任、編纂工作進行
に關し諸般の準備を進めて居りましたが、この程大体これを終つたので、甚だ御足労な
から評議員（暫定規約による）の方々のご来会を願ひ、全般的の審議決定をお願いいた
したいと存じます。期日は七月九、十、両日といたしたいのですが、ご都合如何でしよ
うか折り返し御返事願いたく存じます。御返事の次第により日時を確定の上評議員会議
長本間喜一氏より改めて招請状を差上げたたく存じます。御来豊については、失礼ながら
往復汽車賃を差上げ宿舎は学長公館にお泊り願う予定であります。
尚暫定規約および参考資料同封申上げます。

敬 具

昭和 年 月 日

愛知大学 鈴木 択郎

様

拝啓 愈々御清適の段およろこび申上げます

さて早速であります。華日辞典編纂の全般的審議のために評議員全部の方々の御参集を仰ぐ件につきましては、さきに鈴木沢郎教授より評議員各位の御都合をおうかがい致しておりましたところ、七月九、十日の期日では野崎先生が講義の関係上御都合がわるいことが判りましたので、さらに七月十六、十七両日の線にて各位の御都合をおうかがい致しました結果、只今までに判明しましただけでも坂本先生の御都合がわるく御回答未着が二名となつております。

以上のような次第で期日を後に延期しますと一層御参集に支障を来す懸念がありますので甚だ勝手ながら会期は最初の案のごとく七月九、十両日と決定させて頂くことに致しましたので何卒事情御諒承の上、七月九日午前の審議開始に間に合いますようなるべく七月八日中に御着豊賜りますようお願い申上げます

尚、乍恐縮御来豊の汽車賃につきましては一時お立替おき下さいますよう併而御願致します。

先は右取急ぎ御願ひ迄

昭和三十年七月五日

愛知大学長 本間 喜一

殿

〔注〕辞典刊行会評議委員会開催通知。